

# 校長室だより

令和3年度



令和4年2月1日(火)  
志免町立志免東小学校  
校長 宮邊 淳一



## ご協力、ありがとうございます

1月に入り、オミクロン株の全国的な蔓延により、学年閉鎖等の感染症対応が続いています。保護者のみなさまには、緊急の対応をお願いをすることも多くなっており、みなさまのご協力に心より感謝申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々にご家族のみなさまに対し、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い回復をお祈り申し上げます。併せて感染拡大防止や治療などに日々ご尽力されている保健機関、医療従事者のみなさまに深く敬意を表し、感謝申し上げます。

以下にあげた文章は、1月20日(木)に1年生から4年生までが学年閉鎖になった日に、登校した5、6年生に向けて私から放送させてもらったときの原稿です。

みなさん、おはようございます。

学級での活動中だと思いますが、少しの時間、お話を聞いてください。

今日は、1年生から4年生までが学年閉鎖となりました。もうすでに知っていると思いますが、新型コロナウイルスの陽性者が出たこと、そしてその感染状況を明確にするためです。

今、お話をしたように、学校のなかでは陽性になった人がいますし、濃厚接触者になった人もいます。

でも、好きでなったわけではないですね。学校だけでなく、日本全国、いえ、世界全体で陽性になった人、濃厚接触者になって苦しい思いをしている人がたくさんいます。感染者数は日に日に増えています。今、誰が感染したとしてもおかしくない状況だということも分かりますね。

そんな中で、学校がお休みになったことを喜んだり、休んでいる人をうらやんだりする発言は控えなければなりません。今まで通り、休んでいる人の理由を詮索することもしません。これは分かりますね。「周りが不愉快になる言動をとらない」

「自分がされて嫌なことはしない」「傷つくことを言ったらダメ」日ごろから学んでいることを、今まさに実行するときです。

もう一度言いますが、感染者数は日に日に増えています。今、誰が感染したとしてもおかしくない状況です。そんな今だからこそ、周りの人への思いやりを忘れない、ふわふわ宣言を大切にす志免東小学校でありましょう。そして何よりも、自分たちができることからとにかく防いでいく、安全対策を大切にしていきましょう。

これでお話を終わります。



シトラスリボンプロジェクトのシンボルマーク

「シトラスリボンプロジェクト」って聞かれたことがありますか？これは、誰もが新型コロナウイルス感染症に感染するリスクがある中、たとえ感染しても、地域の中で笑顔の暮らしを取り戻せることの大切さを伝えようというプロジェクトです。感染された方や医療従事者のみなさんが、それぞれ暮らす中で「ただいま」「おかえり」と受け入れられる雰囲気をつくり、思いやりのある、暮らしやすい社会を目指す、愛媛県の有志グループ

「ちょびっと19+」が進めています。上のリボンはそのシンボルマークです。

志免東小学校の子どもたちの胸には、赤十字のバッジが輝いています。形は違いますが、周りの人への優しい思いはきっと同じであると信じます。厳しい状況は続きますが、このようなときだからこそ周りの思いや動きに「気づき・考え・実行する」ことを忘れず対応していこうと思います。

子どもたちと共にあたたかく、思いやりのある志免東小学校を目指します。

今後も、みなさまの健康と安全を考えた感染防止、そして児童の学力保障を両立させた教育活動に努めてまいります。

※学校ホームページにも「新型コロナウイルス感染症についての知らせとお願い」の文書を掲載しております。ご一読ください。

